

広域系統整備計画実施案に係るコスト等調査業務委託に関する入札の落札者決定について

(案)

第58回理事会の決議に基づき実施した広域系統整備計画実施案に係るコスト等調査（東北東京間連系線）業務委託の入札について、入札説明書の規定に基づき、受領した入札書及び提案書並びにプレゼンテーションにより総合評価を行った結果は別紙1のとおりである。入札説明書の規定に基づき、別紙1の総合評価点が最も高い事業者に対して低入札価格調査を行ったところ別紙2のとおり仕様書及び提案書の内容を履行可能であると認められることから、同事業者を落札者として決定し、契約に関する協議を行うこととする。

別紙1：総合評価の結果について

別紙2：低入札価格調査の結果について

以上

(参考：今後の予定)

平成28年5月18日（水）（予定） 理事会承認後、委託契約の締結。

## 総合評価の結果について

入札説明書の「評価手順書（加算方式）」に基づき、以下のとおり総合評価を実施した。

## 1. 一次評価

以下の基準により判定した結果、応札した2社とも一次評価は合格であった。

- ①「評価項目一覧」の「提案要求事項（項番1～3）」の、評価項目が必須の「提案書頁番号」に提案書の頁番号が記入されている。
- ②「評価項目一覧」の「添付資料（項番4）」の、提案の要否が必須の「提案書頁番号」に提案書の頁番号が記入されている。

## 2. 二次評価

一次評価を合格した2社について、理事（1名）、計画部（3名）の審査員（計4名）により技術評価を行った。技術評価の概要は以下のとおり。

- ・入札締め切り後、提案書を審査員全員に配布。
- ・プレゼンテーション実施前に、技術評価方法を再確認。
- ・全員が各社プレゼンテーションに参加し、各々評価を実施。
- ・全プレゼンテーション終了後、全員の審査結果を共有し、再評価の機会を設けた上で、各々の点数を決定、全審査員の平均点で技術点を計算。

評価までの流れは以下の通り。

日時	作業内容
4月25日(月) ~15:00	入札
4月27日(水)14:30~15:00	技術評価方法の再確認（審査員全員）
4月27日(水)15:00~16:30	各社プレゼンテーション（2社） 各社25分（15分説明、10分質疑）
4月27日(水)16:30~17:30	審査結果の共有
4月27日(水) ~17:40	再評価締め切り
4月27日(水)	審査員の技術評価のとりまとめ、技術点の計算
4月28日(木)	開札（価格点及び総合評価点の算出）

## 3. 総合評価点の算出

上記「2. 二次評価」により算出した技術点、開札後に入札価格から「評価手順書（加算方式）」の式により算出した価格点、及び両者の合計である総合評価点は下表のとおり。

順位	応札会社	競争参加資格	技術点	価格点	総合評価点
1	A社	*	*	*	188.8
2	B社	*	*	価格超過	—

2社中1社が予定価格の範囲内であり、評価項目一覧に記載される要件のうち必須とされた項目を全て満たしていることを確認したが、A社の入札価格が予定価格を大きく下回っていたため、仕様書及び提案書の内容を履行可能かどうかの調査（低入札価格調査）を実施した。

低入札価格調査の結果は、別紙2のとおり。

以上

## 低入札価格調査の結果について

## (1) 履行体制

本調査の従事者として、十分な人数がアサインされており、履行体制としては問題ない。

## (2) 工数の妥当性

費用の大部分を占める人件費について、前提となる工数の妥当性について調査対象事業者に確認した結果は次の通り。

- ・ 過去からの知見を有していることに加え、当機関から受託した類似業務（広域系統整備計画実施案に係るコスト等調査業務（東京中部間連系設備）、平成28年2月～5月）において作成した工期モデルをベースとすることができ、効率的に調査できる。
- ・ リスク分析においても、当機関から受託した類似業務における分析の知見を活用して、効率的に調査できる。
- ・ 当機関から受託した類似業務を担当した主要メンバーを従事予定者とするすることで、効率的に調査できる。

なお、人件費以外の費用の計上についても妥当であることを確認した。

## (3) 実績

当機関からの類似業務受託実績、官公庁からの委託調査受託実績も多数あり、実績は申し分ない。

## (4) 結論

当機関から受託した類似業務から得た知見の活用等により効率的な調査が実施できると提案しているものであり、当該入札価格でも仕様書及び提案書の内容の調査を履行可能であると認められる。

以上